

多機能コアドリル  
**UR21**  
S E R I E S

# 取扱説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
製品を「より安全に」「より効果的に」ご使用頂くために、必ずこの取扱説明書  
をお読みください。また、この取扱説明書は、製品を廃棄されるまで大切に保管  
してください。

## ご使用の前に

### 1. ボディ(刃先)・センタードリル・電動機の選び方

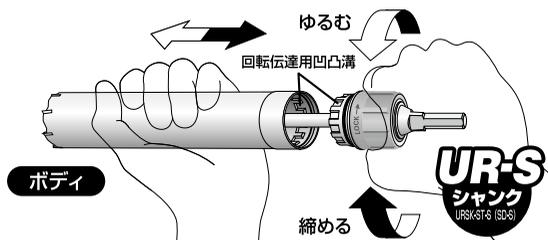
末尾の一覧から、対象穿孔材に応じた「ボディ(刃先)」と「電動機」及び「センタードリル(乾式ダイヤモンドの場合はセンターピン)」を選んでください。

※ダイヤモンドコアは、他のコアと違い「研削」で穴あけをしますので、電動機の消費電力500W以上、回転数800~1,600rpm程度の物をお使いください。

### 2. ボディ交換

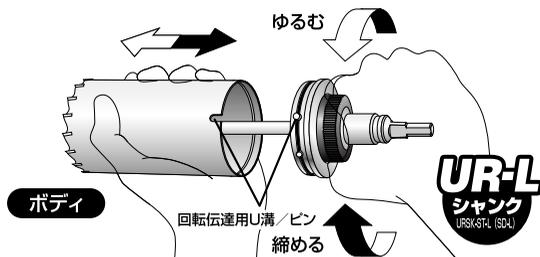
口径:25~55mm 1種類のシャンクアッセンブリーですべてのボディとすべてのサイズ(口径25~55mm)で使用できます。

- ①フランジ部のタイトリングを反時計回りに90°回しますとボディがゆるみ簡単に取り外せます。
- ②対象被削材に合った刃先を選び、ボディとシャンクの「回転伝達用凹凸溝」をはめ合わせます。
- ③タイトリングを時計回りに90°回すと「ボディ」と「シャンク」はしっかりと固定されます。



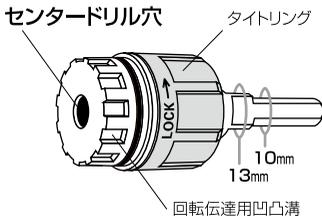
口径:60~170mm 1種類のシャンクアッセンブリーですべてのボディとすべてのサイズ(口径60~170mm)で使用できます。

- ①フランジ部のタイトリングを反時計回りに回しますとボディがゆるみ簡単に取り外せます。
- ②対象被削材に合った刃先を選び、ボディの「回転伝達用U溝」とフランジの「回転伝達用ピン」を合わせ「ピン」を「U溝」の底部に合わせます。
- ③タイトリングを時計回りに締め込むと「ボディ」と「フランジ」はしっかりと固定されます。



# UR-S シャンク

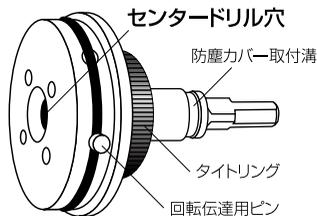
適合口径:25~55mm



# UR-L シャンク

防塵カバー  
対応

適合口径:60~170mm



## 3. センタードリルの交換



素手でセンタードリルを引き抜くと、指や手を怪我する場合がありますので必ず手袋を着用してください。

### ● センタードリルの取付け

センタードリルの取付けはボディを外した状態で行ってください。

- ①センタードリルをシャンクのセンタードリル穴に深く挿入します。
- ②シャンク内にある突起に突き当たったら、センタードリルを少し押し込みながら時計回り方向に回しますと、突起とセンタードリルの凹凸溝が合い、センタードリルは更にシャンクの奥まで入ります。
- ③センタードリルが奥まで入った所で、更に時計回りに60°回しながら押し込むとセット完了です。

### ● センタードリルの取外し

- ①タイトリングをゆるめシャンクからボディを外してください。
- ②センタードリルを軽く引張り反時計回りに60°回転させますと、シャンク内部でセンタードリルが外れた状態になります。
- ③そのまま引き抜いてください。センタードリルは簡単に外れます。

### センタードリル取付手順

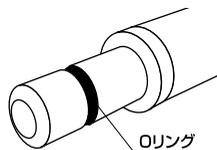


## 4. センターピンの交換 (乾式ダイヤモンド)

単に挿入されているだけですので、センターピンを掴んで引張ると抜けます。押し込むとセットされます。

※使用中簡単に抜け落ちない様、センターピンのシャンク穴へ挿入する部位に弾力性の「Oリング」が装着してあります。

### センターピン



## 5. 防塵カバーの着脱方法 (UR-Lシャンク用)

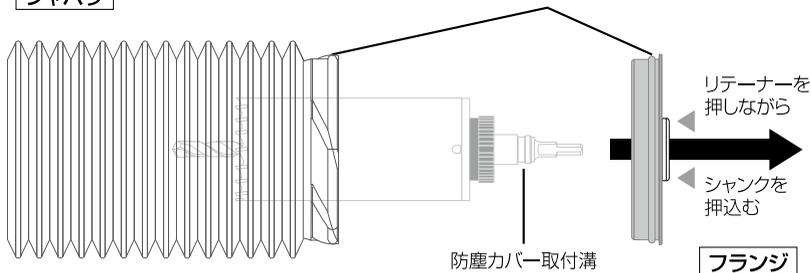
①UR-Lシャンクをフランジのスリーブ孔に入れ、リテーナーをフランジ側に押しながら製品を押し込むと、防塵カバーがロックされます。

※ロックは着脱方向のみとなります。回転方向は固定されません。

②リテーナーをフランジ側に押し込むとロック機構が解除されます。そのまま製品を引くと、取り外すことができます。

ジャバラ

【ジャバラの着脱方法】リブにジャバラをはめる



BCV-80L = 口径 ~80mm用    BCV-125L = 口径 ~120mm用    BCV-170L = 口径 ~170mm用

# ご使用方法

## 7. 全般共通

- ①ご使用になる前に「ボディ(刃先)・センタードリル・電動機の選定は間違っていないか」「ボディのタイプが回転専用・振動・打撃用なのか」「電動機の使用モード(回転・振動・打撃)は合っているか」確認してください。  
「異常」「間違い」が発見されたら、そのままでは使用しないでください。
- ②電動機の始動スイッチが切れていること、電源用コンセントが抜いてあることを確認してください。
- ③ストレートシャンクの場合、コアのシャンク部を電動機の「チャックの三つ爪」と「シャンクの三面平部」を合わせ、しっかりと締め付けてください。  
※シャンクの三面平部の根元を3mm程度残す様に三つ爪で締め付けてください。  
※SDSシャンクの製品を三つ爪チャックタイプの電動機で使用しないでください。チャックの不適合によりシャンクが変形し、予期せぬ破損などトラブルの原因になることがあります。
- ④電源を入れ、穴あけすべき位置の中心にセンタードリルを押し付け、電動機をしっかりと保持して回転させてください。  
※センタードリルが振れる、ボディが振れるなどの異常現象がある場合は各部品のセット方法などを再チェックしてください。
- ⑤穴あけが完了するまで、出来るだけ電動機を停止させないように作業してください。  
※コア口径80mm以上をご使用の場合、電動機は750W以上、800rpm以下を推奨します。



UR21 振動用コア (Vタイプ) は振動・打撃モードで使用してください。  
他のタイプはすべて回転専用です。



ボディを外してセンタードリルのみでの穿孔は、フランジ部のトラブルの原因になりますので行わないでください。

## 2. ALCコアでの穿孔 [回転専用]

穴あけ中鉄筋に当たった場合、突き当たった様に進まなくなり穿孔音が変わります。その時は押し込む力を抜き、軽い音が出る程度に保ってください。しばらくすると鉄筋の切断は終了します。



鉄筋切断中は、強く押し付けしないでください。刃先寿命を短くするだけでなく、鉄筋に噛み込み大変危険です。

※強く押付けるより、電動ドリルの回転数が余り落ちない、適当な押付けで穿孔作業をしたほうが、穿孔時間は短縮されます。

## 3. ブレイズダイヤコアでの穿孔 [回転専用]

被削材にセンタードリルの先端を押し付け、しっかりと位置決めしてから電動機を回転させ、穴あけを開始してください。

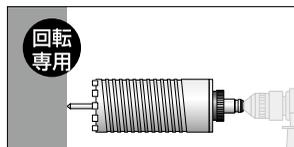
- ブレイズダイヤコアは他のコアと違い「研削」で穿孔しますので「回転数が高く、力の強い電動機」を使用し「電動機の回転数が多少落ちる程度に押し付ける(10~20kgf位)」よう穿孔するのが早い穴あけのコツです。
  - 切粉の排出が悪い時など、時々コアを回転させながら穿孔穴から抜け出さない程度に穿孔方向に「引いたり」「押したり」すると切粉がより排出され早く穴あけできます。
  - ブレイズダイヤは目立て(ドレッシング)は不要です。(単層のダイヤ粒子層です。)
- ※ブレイズダイヤは乾式専用です。水は使用しないでください。

## 4. 乾式ダイヤモンドコアでの穿孔 [回転専用]

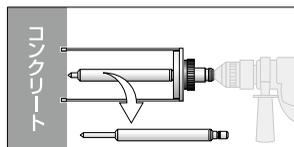
- ①センターピンを付けたまま刃先で3~5mmの溝が掘れた時、一時穴あけを中断してください。
  - ②被削材にセンタードリルの先端を押し付け、しっかりと位置決めしてから電動機を回転させ、穴あけを開始してください。
- ダイヤモンドコアは他のコアと違い「研削」で穿孔しますので「回転数が高く、力の強い電動機」を使用し「電動機の回転数が多少落ちる程度に押し付ける(10~20kgf位)」よう穿孔するのが早い穴あけのコツです。
  - 切粉の排出が悪い時など、時々コアを回転させながら穿孔穴から抜け出さない程度に穿孔方向に「引いたり」「押したり」すると切粉がより排出され早く穴あけできます。
  - 切れ味が落ちてきたら刃先の目立て(ドレッシング)をしてください。  
刃先表面のダイヤモンドが摩耗したり、脱落しますと切れ味が落ちてきます。  
巣穴を持つブロックなどを数回穿孔しますと、刃先のダイヤモンドを保持しているボンドが削られ、新たなダイヤモンドが突出してきて切れ味は元に戻ります。  
※コンクリートを濡らすと切れ味が悪くなり、穴あけに時間がかかります。  
刃先を冷やすために水を使用する時は、穴あけを中止し、コンクリートを濡らさないよう、ダイヤモンドコアドリルの刃先のみを水で冷やしてください。  
※拡張用途でのご使用は推奨しておりません。

### 乾式ダイヤモンドコアの作業手順

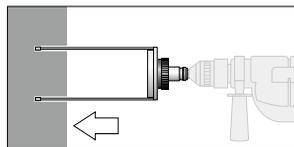
1. しっかり押さえて電動機のスイッチを入れる。[回転モード]



2. 刃先が5mm程入ったら、電動機を止め、センターピンをはずす。



3. 円形溝にボディを軽く押し付け、穴あけを開始する。



素手でセンタードリル、センターピンを引き抜くと、指や手を怪我する場合がありますので必ず手袋を着用してください。

## 抜きカスの取り方 (穿孔終了後)

- ①タイトリングをゆるめ「ボディ部」と「シャンク部」を分離してください。
- ②ボディのシャンク取り付け側から適当な棒を差し込み、押し込むようにして切りカスを除去してください。  
※口径25~38mm、及び65mmはシャンク側からも除去できます。  
※刃先は鋭利ですので、怪我をしないよう注意してください。
- ③切りカスの除去が終わったら、シャンクとの吻合部分のゴミなどを綺麗に取り除き、シャンクとセットしてください。



タイトリングは必要以上にゆるめないでください。脱着機構の不具合につながります。



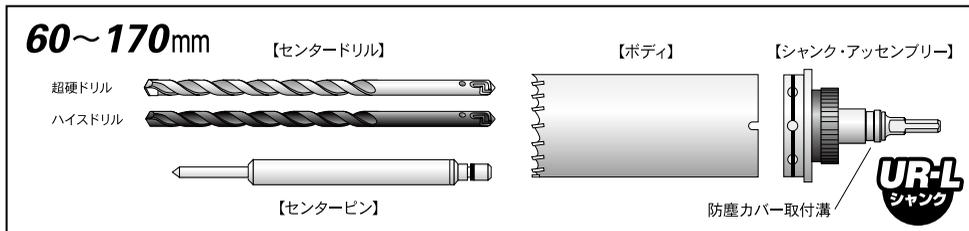
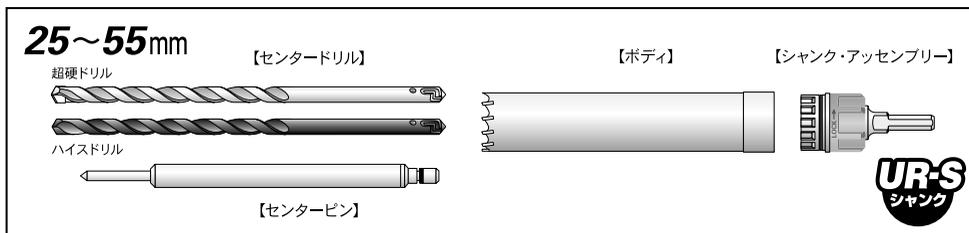
## 保 守 ・ 管 理

- ①ご使用後は、付着している切りカス、水分等を綺麗に拭き取ってください。  
特に「刃先」「シャンク、フランジ部」は、切りカス等が固着すると再使用できなくなる事もあります。
- ②長時間で使用にならない場合はゴミなどを綺麗に拭き取った後、防錆油など防錆効果のあるものを塗布しておいてください。
- ③可動部分には、ときどき注油してください。
- ④その他ご不明の事がございましたら、最寄りの弊社営業所へお問い合わせください。

# 対象物・電動機別適合表

対象物		UR21							備考 ◎……最適 ○……適	
		振動用 V	乾式 ダイヤ D	金属材用 W	複合材用 F	マルチ Plus MP	A L C用 A	ブレイク ダイヤ B		
コンクリート			◎							
ブロック・レンガ		◎	○					※○	※センターピンを使用	
モルタル		◎	◎					※○	※センターピンを使用	
A L C							◎	○		
磁器タイル			○						水を併用した場合に可	
押出成形セメント板		○	◎					※◎	※センターピンを使用	
石材			○						水を併用した場合に可	
木材				◎	○	○				
合板				◎	◎	○		○		
石膏ボード		○		○	○	◎	◎	◎		
窯業系サイディングボード		○		○	○	◎		◎		
塩ビ板				◎	○	◎		◎		
F R P				◎	◎	◎		◎		
薄鉄板・軽金属(アルミ)				◎	○				2mm以下	
金属系サイディングボード				◎	◎					
樹脂系人造大理石			◎					※◎	※センターピンを使用	
2×4(釘入り)				◎	○	○				
ガルバリウム鋼板				◎	○					
ステンレス薄板				◎	○				1mm以下	
電動機	回転モード(電気ドリル/SDSドリル)		●	●	●	●	●	●		
	振動モード(電気振動用ドリル)	●								
	SDS打撃モード(SDSドリル)	●								
セッター 可能部品	センタードリル 25 55 mm	超硬ドリル(振動用)	●						CDB-T250	
		超硬ドリル(回転用)					●	●	●	CDR-T250
		ハイスドリル			●	●				CDR-H250
		ハイスドリル(ショート用)				●				CDR-H150
		超硬ドリル(振動用)	●							CDB-T220
		超硬ドリル(回転用)					●	●	●	CDR-T220
		超硬ドリル(振動・ロング用)	●							CDB-T280
		超硬ドリル(回転・ショート用)					●			CDR-T150
	センター ピン	60mm以上	ハイスドリル			●	●			CDR-H210
			ハイスドリル(ショート用)				●			CDR-H150
			25~55mm用		●					
		60~170mm用		●				○		CP-190
		ロング用		●						CP-260
シャンク アッセンブリー	25~55mm用	●	●	●	●	●	●		URSK-ST-S(SD-S)	
	60~170mm用(防塵カバー対応)	●	●	●	●	●	●	●	URSK-ST-L(SD-L)	
ガイドプレート	25~55mm用		●	●	●					

# 部 品 図



# 安全上の注意



## 警告

- 作業に適した服装で作業を行ってください。特に切り屑等が目に入らないように、保護メガネを着用してください。
- 作業環境を整えてから作業を行ってください。高所、可燃性物質のある所、暗所、雨中、湿地にでの作業は足場確保、落下防止、引火防止、感電防止などの安全を確保してから行ってください。
- 使用前、製品に損傷がないかを点検し、損傷があるときは絶対に使用しないでください。
- 電動機に着脱する際は、始動スイッチが切れていることを確認し、必ず電源プラグをコンセントから抜いた後、行ってください。
- 穿孔時の摩擦により製品本体、切り屑、穿孔面は高温になっております。絶対に素手では触れないでください。
- 危険ですので、空転はさせないでください。 ●改造は絶対にしないでください。
- 回転中の回転部分、特に刃先には絶対に手を触れないでください。
- 回転中に異常を感じたときは、作業を中止し、製品・電動機を点検してください。
- 記載用途以外の使用は、メーカーに必ずお問い合わせください。
- 使用する電動機の取扱説明書をよくお読みになった上でご使用ください。



## 注意

- 作業以外には作業場の周囲に近づけないでください。
- 刃先は鋭利ですので、素手では触れないでください。
- 部品交換、組立時は取扱説明書をよくお読みください。
- 部品交換は製品の仕様に適合するものをご使用ください。
- 使用する電動機仕様にあった製品・サイズをご使用ください。特に、小径サイズ向けのバッテリー式電動機で大径の製品を使用したり、プレーキ付き電動機で大径コアを急停止させたりしますと、思わぬ怪我や工具・電動機の破損を招く恐れがあります。
- 使用中は逆回転させないでください。刃先やシャンクアッセンブリーの破損の原因となります。

製品の品質に関しましては万全の体制で取り組んでおります。万一、欠陥・不良等の場合には、お手数ですが、製品と当取扱説明書を添えてご購入店にお持ち下さるか、弊社本社宛に発送してください。また、本製品は改良のため、仕様および形状を予告なく変更することがあります。ご了承ください。

**unika**  
ユニカ株式会社

〒101-0032 東京都千代田区岩本町2-10-6  
TEL.03-3864-8711 FAX.03-3864-7746  
東京 / 大阪 / 福岡 / 仙台 / 名古屋 / 北海道 / 岩手 / 群馬

2304J10UN-NS